

令和5年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

# アイ・あい だより



7月号

梅雨明けも間近、木々の葉が生い茂る季節となりました。暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。本校でも、畑の夏野菜を収穫したり、水遊びをしたりと夏を楽しむ幼児児童生徒の姿が見られます。

さて、支援部では夏休みに以下の講座を予定しています。興味のある方はぜひご参加ください。(詳細はHPに記載しています。)

## サマースクール

日時 令和5年7月28日(金) 10:00~12:15  
対象 本校教育相談の幼児児童生徒と兄弟姉妹  
内容 プールでの水遊び

## 視覚障害のガイドヘルプ&点字体験

～見えない・見えにくいってどんなこと?～

日時 令和5年7月31日(月) 9:30~15:15  
対象 視覚障害や点字に興味がある方(小学生は保護者同伴のこと)  
内容 「視覚障害ってなあに?」  
全盲と弱視について、視覚障害者の立場からの話など。  
「ガイドヘルプってなあに?」  
視覚障害者を見かけた時に役立つポイント、手引きなど。  
「点字ってなあに?」  
点字の成り立ち、身近にある点字の紹介、  
点字盤で書いてみる、点字で遊ぼうなど。

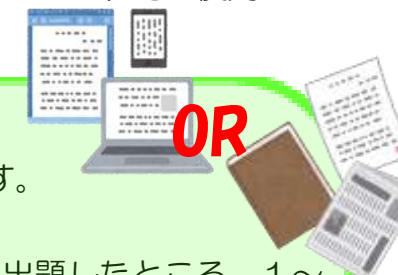
## 弱視教育研修会

日時 令和5年8月3日(木) 9:50~15:30  
対象 小中学校等に在籍する弱視児童生徒にかかわる教職員  
弱視教育に関心のある教職員 本校教職員  
内容 講演 「視機能の発達と視覚支援(仮題)」  
講師 川端眼科院長 川端秀仁先生  
※視覚障害だけでなく、発達障害の見え方についてのお話もあります。  
体験活動「弱視キットによる弱視体験」  
視覚障害関連機器の展示・見学  
情報交換・交流会

## 「不易流行」って知っていますか?

6月号で、子どもの目の事情についてお話をしましたが、今月は「はやり(流行)」のデジタルと、「不易(変わらないもの。不変)」の従来の紙媒体についてのお話です。

今、ご家庭だけではなく学校でもデジタル機器が大流行で、もう手離せないアイテムになっていて、実際、この「アイ・あいだより」も、パソコンで作成しています。しかし、その使用については兵庫県もガイドラインを発表しました(県のHPを参照)。



さて、こんな調査結果をご存じでしょうか?

広島大学の研究によると、以下のような研究結果と分析を行っています。

<実験>

- ① 「読解力を問う文章問題」を、それぞれ紙とデジタル端末で小学生に出題したところ、1~4年生では紙の方がデジタルより成績が上回った。
- ② 「本を読むなら紙とデジタルのどちらが良いか」のアンケートでは、6割以上の児童が紙を選択し、学年が上がるほど紙を選択する割合が多い。さらに、平均点以上の得点を取った子が顕著に紙を選択。高学年は約8割が紙を選択した。
- ③ 低学年や点数の低い子ほど、デジタルを好む傾向が見られた。

<分析(広島大学大学院教授)>

- 文章に没頭し、深く読む読解力の育成には紙の方が適している可能性がある。
- デジタルは操作に気を取られ、内容に集中しにくいのではないかと。
- 少なくとも低学年の読解力育成では紙の学習効果が高く、教材は子どもの成長段階に合わせて使い分ける工夫が必要。

少し話は逸れますが、ある進学塾の学園長の言葉で、興味深いものがありました。

変化の激しい時代になり、常に未知の課題と向き合い続けなければならず、そのために最も必要な力は「思考力」である。「考える」という行為は常に言語を用いて行われるため、「言語能力」がすべての能力の土台であるとも言える。

最近は、SNSの普及やITツールの進化に従って、言語能力が育ちにくくなっている。短い言葉で情報伝達さえできればよいという世の中になり、視覚的な情報の割合が増えることで、言葉に触れたり言葉を使ったりして「言語能力」を鍛える機会が減少している。しかし、子どもたちに未来を生き抜く力を身に付けさせるためには、英語やプログラミングと言った「道具」の習得より、「思考力」「感性」を育てることが重要である。

時代の波に乗ることや便利なツールを使いこなす(流行)ことも大切ですが、従来私たちが大切にしてきた「不易」をないがしろにしてはいけないのだと、改めて感じました。皆さんはいかがでしたか?視覚障害教育で言うと、従来の書見台・単眼鏡・ルーペ・拡大教科書の使用と、タブレット・デジタル教科書の関係ですね。

私はまだガラケーですが、パソコンもタブレットもネットも使います。なので、ガラケーでもほとんど困っていません。反対に、電車内で瞬きもせずスマホを凝視したり、ゲームに熱中している姿を見たり、教育相談時にスマホが何度もピコピコ鳴ったり、生徒の指導時にスマホを持ち歩いている姿を見ると、「何だかなあ〜」と思ってしまいます。私が既に「化石」「ガラパゴス」なのかもしれませんが、私自身は、「何が大事か」「何を優先しなければいけないのか」を、しっかり自分の意見を持って過ごしていきたいと考えています。